

防 災 編

---



## 第1章 災害の発生状況

### 1 令和元年中の災害発生状況

#### (1) 人的被害

死者1人、重傷者1人、軽傷者1人

#### (2) 住家被害

なし

**第1表 令和元年中の災害発生状況**

発生年月日		災害名	地滑り	雪害	台風10号	台風19号	計	
区分			H29年12月25日～H31年1月	1月2日	8月16日	10月12日～13日		
人的被害	死者	人		1			1	
	行方不明者	人					0	
	負傷者	重傷	人				1	1
		軽傷	人		1			1
住家被害	全壊	棟					0	
	半壊	棟					0	
	一部破損	棟					0	
	床上浸水	棟					0	
	床下浸水	棟					0	
非住家	公共建物	棟					0	
	その他	棟					0	
その他	田	流失・埋没	ha				0	
		冠水	ha				0	
	畑	流失・埋没	ha				0	
		冠水	ha				0	
	学校	箇所					0	
	病院	箇所					0	
	道路	箇所	1			1	2	
	橋りょう	箇所					0	
河川	箇所					0		

発生年月日		災害名		地滑り	雪害	台風10号	台風19号	計
区分				H29年12月25日～H31年1月	1月2日	8月16日	10月12日～13日	
その の	港湾	箇所						0
	砂防	箇所						0
	清掃施設	箇所						0
	崖くずれ	箇所						0
	鉄道不通	箇所						0
	被害船舶	隻						0
	水道	戸						0
	電話	回線						0
	電気	戸					1,200	1,200
	他	ガス	戸					0
火災 発生	建物	件						0
	危険物	件						0
	その他	件						0
り災世帯数		世帯						0
り災者数		人						0
公立文教施設		千円						0
農林水産業施設		千円				9,488		9,488
公共土木施設		千円	1,157,665				37	1,157,702
その他の公共施設		千円					1,099	1,099
公共施設被害市町村数		団体	1			1	2	4
その他被害		千円					25,726	25,726
被害総額		千円	1,157,665			9,488	26,862	1,194,015
都道府県	設置							/
災害対策本部	解散							
災害対策本部設置市町村								0
災害救助法適用市町村								/
消防職員出動延人数		人			6			6
消防団員出動延人数		人						0



年月日	種類	被害状況	気象状況
2015 (平27) 10.1～2	大雨	(1) 公共土木施設被害 13,142 千円	前線を伴った低気圧が急速に発達しながら北陸地方を通過したため、大雨となったところがあった。 (日最大1時間降水量(2日)) 今庄 57.5 <sup>mm</sup> 、敦賀 48.0 <sup>mm</sup> (日降水量(2日)) 今庄 83.0 <sup>mm</sup> 、美山 73.0 <sup>mm</sup> (日最大風速) 小浜 14.6m/s(北西)2日01時21分 敦賀 14.4m/s(南南東)1日16時38分 (日最大瞬間風速) 敦賀 23.6m/s(西北西)2日01時02分 小浜 23.5m/s(北北西)2日01時09分
2015 (平27) 12.4	強風	(1) 公共土木施設被害 429,531 千円	日本付近は冬型の気圧配置となり、福井県では、大気の状態が不安定となった。 (日最大風速) 越廼 13.1m/s(西)4日05時02分 敦賀 12.1m/s(西)4日05時30分 (日最大瞬間風速) 三国 28.1m/s(西)4日00時53分 越廼 23.6m/s(西南西)4日01時24分
2015 (平27) 12.11	強風	(1) 人的被害 重傷 1人	本州上を前線を伴った低気圧が東北東進したため、大雨や強風となった。また、大気の状態が非常に不安定となり、竜巻等の激しい突風が発生しやすい状況となった。 (日最大1時間降水量(11日)) 武生 24.0 <sup>mm</sup> 、美浜 22.5 <sup>mm</sup> (日降水量(11日)) 大飯 92.5 <sup>mm</sup> 、小浜 86.0 <sup>mm</sup> (日最大風速) 春江 15.3m/s(北)11日12時26分 敦賀 15.3m/s(北北西)11日14時13分 (日最大瞬間風速) 小浜 24.7m/s(北北西)11日13時27分 敦賀 22.9m/s(北北西)11日14時04分
2015 (平27) 12.17  ～  2016 (平28) 2.29	大雪	(1) 人的被害 軽傷 4人	12月は低気圧の通過や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨の日が多く、1月24日から25日にかけて嶺北中心に、2月中頃は嶺南中心に一時的に冬型の気圧配置が強まって大雪となった。 (日降雪量最大) 福井 36センチ1月24日 敦賀 21センチ2月16日 九頭竜 35センチ1月19日 大野 34センチ1月24日 武生 26センチ1月25日 今庄 50センチ1月25日 小浜 15センチ2月16日 (最深積雪最大値) 福井 47センチ1月26日 敦賀 21センチ2月16日 九頭竜 87センチ1月25日 大野 57センチ1月25日 武生 39センチ1月25日 今庄 59センチ1月25日 小浜 27センチ2月16日

年月日	種類	被害状況	気象状況
2016 (平28) 4.17	暴風	(1)人的被害 軽傷 2人 (2)その他被害 15,075千円	華中で前線上に発生した低気圧が、発達しながら北東に進み、17日未明には朝鮮半島に、その後も発達しながら日本海を北東に進み17日夜には北海道西海上に進んだ。この低気圧の影響で福井県内では、16日夜から風が強まり、17日昼過ぎにかけて非常に強い風を観測した所があった。 (日最大風速(17日)) 三国 21.2m/s(南)10時35分 敦賀 20.0m/s(南南東)06時41分 (日最大瞬間風速(17日)) 敦賀 32.9m/s(南南東)08時08分 三国 30.1m/s(南)11時13分
2016 (平28) 5.3	暴風	(1)人的被害 重傷 2人 軽傷 3人 (2)住家被害 一部破損 10棟 (3)非住家被害 その他 3棟 (4)農林水産業施設被害 15,000千円 (5)その他の公共施設被害 854千円 (6)その他被害 6,800千円	黄河下流で発生した低気圧は、ボツ海から黄海付近を通過し、中国東北区を進んだ3日昼頃にかけて急速に発達し、その後は東北東進した。この低気圧からのびる寒冷前線が、3日夜から4日未明にかけて北陸地方を通過した影響で、福井県内では、3日未明から風が強まり、夜遅くかけて非常に強い風を観測した所があった。 (日最大風速(3日)) 敦賀 22.9m/s(南南東)20時15分 三国 21.7m/s(南南東)22時05分 (日最大瞬間風速(3日)) 敦賀 35.8m/s(南東)11時17分 三国 31.6m/s(南)21時57分
2016 (平28) 6.25	大雨	(1)農林水産業施設被害 9,757千円	前線を伴った低気圧が日本海を北東進した影響で、嶺北を中心に大雨となり強い雨を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(26日)) 三国 42.0 <sup>mm</sup> 5時33分
2016 (平28) 9.20	台風 16号	(1)住家被害 床上浸水 1棟 一部破損 1棟 224,135千円 (2)公共土木施設被害 (3)その他被害 1,136千円 (4)災害対策本部設置市町村 敦賀市、池田町	台風16号が、太平洋沿岸を北東進した影響で、福井県では、19日から20日にかけて雨が降り、強い雨を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(20日)) 敦賀 33.5 <sup>mm</sup> 14時46分 九頭竜 28.5 <sup>mm</sup> 16時11分 小浜 28.5 <sup>mm</sup> 13時24分 (日降水量(20日)) 九頭竜 117.0 <sup>mm</sup> 、大飯 109.5 <sup>mm</sup>
2016 (平28) 10.5	台風 18号	(1)人的被害 軽傷 2人 (2)その他被害 300千円	台風18号が、対馬海峡から山陰沖を通過し能登半島沖に進んだ影響で、福井県では、5日昼前から風が強まり、5日夜遅くにかけて強い風を観測した所があった。 (日最大風速(5日)) 敦賀 16.0m/s(南南東)16時10分 三国 18.4m/s(南)19時31分 (日最大瞬間風速) 三国 26.4m/s(南)19時25分 敦賀 25.3m/s(南)15時52分

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2017 (平29) 8.7～8	台 風 5 号	(1)住家被害 全壊 1棟 床下浸水 3棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他被害 道路 3箇所 (4)その他被害 河川 24箇所 (5)その他被害 港湾 2箇所 (6)その他被害 砂防 5箇所 (7)公共土木施設被害 393,080千円 (8)災害対策本部設置市町村 小浜市	台風第5号は、四国の南を通り、7日15時半頃に暴風域を伴ったまま和歌山県北部に上陸した。上陸後は近畿地方を北東に進み8日には石川県白山市付近を通過した影響で、福井県では、7日から8日にかけて断続的に強い雨が降った。 8日は激しい雨を観測した所もあり、7日00時から8日24時にかけての総降水量は、奥越、嶺南を中心に200mmを超えた所があった。 (日最大1時間降水量(8日)) 美山 41.0mm 06時45分 小浜 35.0mm 00時55分 (7日～8日の期間降水量) 九頭竜 223.5mm、敦賀 207.5mm
2017 (平29) 8.12	大雨	(1)住家被害 床下浸水 1棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他被害 道路 1箇所 (4)公共土木施設被害 20,496千円 (5)災害対策本部設置市町村 高浜町	気圧の谷や湿った空気の影響で、嶺南では激しい雨を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(12日)) 小浜 45.5mm 04時14分
2017 (平29) 8.25	大雨	(1)住家被害 床下浸水 5棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他被害 砂防 1箇所 (4)公共土木施設被害 16,588千円 (5)災害対策本部設置市町村 永平寺町	低気圧から伸びる前線が北陸地方を南下したため、雷を伴って激しい雨の降った所があった。 (日最大1時間降水量(25日)) 勝山 42.0mm 10時03分 大野 39.0mm 11時00分 福井 34.5mm 09時45分 春江 34.0mm 09時27分
2017 (平29) 9.18	台 風 18 号	(1)住家被害 床下浸水 5棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他被害 港湾 1箇所 (4)その他被害 砂防 1箇所 (5)電気被害 31戸 (4)公共土木施設被害 275,419千円	台風第18号が、兵庫県明石市付近に上陸した後、17日夜遅くから18日未明にかけて福井県を通過した影響で、福井県では激しい雨の降った所があった。 また、台風が最も接近した17日夜遅くから風が強まり、18日未明に強い風を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(18日)) 越廼 43.5mm 00時12分 (日最大1時間降水量(17日)) 大飯 38.0mm 23時34分 三国 37.5mm 23時16分 九頭竜 35.0mm 23時25分 (17日～18日の期間降水量) 大飯 114.5mm、小浜 112.5mm (日最大風速(18日)) 敦賀 17.2m/s(北西)00時32分 小浜 16.8m/s(北西)00時49分 (日最大瞬間風速(18日)) 敦賀 26.2m/s(北西)00時24分 小浜 30.6m/s(北北西)00時40分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2017 (平29) 10.22 ~ 23	台風21号	(1)人的被害 重傷 1人 軽傷 4人 (2)住家被害 全壊 1棟 半壊 6棟 一部破損 609棟 床上浸水 5棟 床下浸水 57棟 (3)非住家被害 公共施設 9棟 その他 87棟 (4)その他被害 学校 20箇所 (5)その他被害 病院 1箇所 (6)その他被害 道路 127箇所 (7)その他被害 橋りょう 1箇所 (8)その他被害 河川 89箇所 (9)その他被害 港湾 4箇所 (10)その他被害 砂防 31箇所 (11)その他被害 清掃施設 2箇所 (12)その他被害 崖くずれ 4箇所 (13)その他被害 被害船舶 9隻 (14)電話被害 4回線 (15)電気被害 7,545戸 (16)公共文教施設被害 15,912千円 (17)農林水産業施設被害 479,172千円 (18)公共土木施設被害 4,124,326千円 (19)その他の公共施設被害 129,904千円 (20)その他被害 592,067千円 (21)災害対策本部設置市町村 敦賀市、小浜市、鯖江市、 越前市、永平寺町、越前町、 高浜町、おおい町	台風第21号が、静岡県御前崎市付近に上陸した後、東海地方および関東地方を北東に進んだ影響で、福井県では激しい雨を観測した所があった。 台風が最も接近した22日夜遅くから23日未明にかけて、非常に強い風を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(22日)) 大飯 38.0mm 22時33分 越廼 34.5mm 23時21分 (日最大1時間降水量(23日)) 大飯 31.0mm 00時01分 (22日~23日の期間水量) 大飯 304.0mm、小浜 112.5mm 今庄 253.0mm、 (日最大風速(23日)) 春江 23.1m/s(北)01時47分 今庄 22.5m/s(北)02時43分 小浜 20.3m/s(北)01時04分 (日最大瞬間風速(23日)) 春江 33.4m/s(北)01時44分 今庄 36.8m/s(北)02時37分 小浜 38.8m/s(北)02時07分

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2018 (平30) 1.12～14	大雪	(1)人的被害 死者 1人 重傷 4人 軽傷 8人 (2)住家被害 一部損壊 1棟 (3)農産被害 24,314千円	1月中旬から2月中旬にかけて、強い寒気が周期的に入った。 特に、2月3日から8日は強い冬型の気圧配置が続いたため、嶺北を中心に記録的な大雪となった。 嶺北では5日夜遅くから6日昼前にかけて1時間に5cmを超える強い雪が断続的に降り、6日10時までの12時間で50cm前後の降雪量を観測した所があった。 7日15時には福井市の積雪がこの期間の最深の147cmに達し、昭和56年の豪雪(196cm)以来の大雪となった。 8日午後から10日は一時的に冬型の気圧配置は緩んだが、11日から13日前半にかけて再び冬型の気圧配置が強まり、嶺北中心に大雪となった。
2018 (平30) 1.24～29	大雪	(1)人的被害 重傷 6人 軽傷 1人 (2)その他 学校 1箇所	8日午後から10日は一時的に冬型の気圧配置は緩んだが、11日から13日前半にかけて再び冬型の気圧配置が強まり、嶺北中心に大雪となった。
2018 (平30) 2.5～22	大雪	(1)人的被害 死者 12人 重傷 26人 軽傷 94人 (2)住家被害 全壊 1棟 半壊 6棟 一部破損 542棟 床下浸水 7棟 (3)非住家被害 公共建物 6棟 その他 121棟 (4)その他 学校 26箇所 (5)その他 道路 1箇所 (6)その他 橋梁 1箇所 (7)公立文教施設被害 5,627千円 (8)農林水産業施設被害 205,417千円 (9)公共土木施設被害 309,201千円 (10)その他公共施設被害 35,588千円 (11)その他被害 1,027,460千円 (12)災害対策本部設置市町 福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町	<アメダスの最深積雪 (期間：2017年12月～2018年2月)> 福井147cm(2月7日) 武生130cm(2月13日) 大野177cm(2月13日) 九頭竜301cm(2月13日) 今庄162cm(2月13日) 敦賀57cm(2月8日) 小浜48cm(2月8日) <大雪警報発表日> 1月11日、1月12日、1月13日、 1月24日、2月4日、2月5日、 2月6日、2月7日、2月8日、 2月12日、2月13日
2018 (平30) 3.5	大雪	(1)人的被害 死者 1人 (2)住家被害 一部破損 1棟	
2018 (平30) 3.8	融雪	(1)その他 道路 1棟 (2)公共土木施設被害 19,051千円	
2018 (平30) 3.22～23	融雪	(1)その他 道路 1棟 (2)公共土木施設被害 17,722千円	

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2018 (平30) 7.4~12	大雨	(1)住家被害 一部破損 4棟 床上浸水 3棟 床下浸水 18棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他 学校 2箇所 (4)その他 道路 26箇所 (5)その他 河川 37箇所 (6)その他 港湾 15箇所 (7)その他 崖崩れ 2箇所 (8)電気被害 24戸 (9)公立文教施設被害 450千円 (10)農林水産業施設被害 101,733千円 (11)公共土木施設被害 2,638,337千円 (12)その他の公共施設被害 458千円 (13)その他被害 1,157千円 (14)災害対策本部設置市町 敦賀市、大野市、あわら市、 越前市、永平寺町、 南越前町、越前町、高浜町	4日は台風第7号が日本海を北東に進み、その後、8日にかけて梅雨前線が本州付近に停滞した。 日本付近には暖かく湿った空気が供給され続けたため、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となった。 福井県では、多い所では4日から8日までの総降水量が400mmを超える大雨となった。 <4日から8日までの総降水量> 九頭竜 424.5mm、三国 417.0mm、越廼 330.0mm 三国、越廼、勝山、武生、今庄、美浜、大飯では7月の日降水量の極値を更新した。 <極値を更新したアメダス> 三国(7日:164mm)、越廼(7日:193mm)、 勝山(5日:178mm)、武生(5日:183mm)、 今庄(5日:161mm)、美浜(5日:131.5mm)、 大飯(7日:151mm)、 平成30年6月28日以降の台風第7号や梅雨前線の影響によって、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となり、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、気象庁は、この大雨の名称を「平成30年7月豪雨」と定めた。
2018 (平30) 8.24	台風 20号	(1)人的被害 軽傷 3人 (2)住家被害 一部破損 24棟 (3)非住家被害 公共建物 1棟 その他 1棟 (4)田 冠水 3.0ha (5)その他 学校 2箇所 (6)その他 道路 17箇所 (7)その他 鉄道不通 1箇所 (8)その他 被害船舶 3隻 (9)電気被害 20戸 (10)公立文教施設被害 1,296千円 (11)農林水産業施設被害 146千円 (12)公共土木施設被害 20,992千円 (13)その他の公共施設被害 715千円 (14)その他被害 1,100千円 (15)災害対策本部設置市町 小浜市、鯖江市	台風第20号は、23日は、四国の南海上を北上し、強い勢力で暴風域を伴ったまま23日21時頃に徳島県南部に上陸した。その後も暴風域を伴ったまま四国から近畿地方を北上し、24日2時に日本海に抜けた後、15時に秋田県沖で温帯低気圧に変わった。 <日最大風速> 福井 17.4m/s (24日00時49分 南東) 敦賀 21.3m/s (24日03時00分 南南東) <最大瞬間風速> 福井 29.5m/s (24日03時16分 南) 敦賀 37.5m/s (24日00時50分 南東)

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2018 (平30) 9.4～5	台風 21号	(1)人的被害 重傷 1人 軽傷 6人 (2)住家被害 半壊 4棟 一部破損 115棟 (3)非住家被害 公共建物 1棟 その他 8棟 (4)その他 学校 12箇所 (5)その他 道路 9箇所 (6)その他 河川 6箇所 (7)その他 砂防 1箇所 (8)その他 鉄道不通 1箇所 (9)その他 被害船舶 1隻 (10)電気被害 5,200戸 (11)公立文教施設被害 7,674千円 (12)農林水産業施設被害 10,142千円 (13)公共土木施設被害 76,052千円 (14)その他の公共施設被害 82,999千円 (15)その他被害 2,792千円 (16)災害対策本部設置市町 敦賀市、小浜市、鯖江市、 永平寺町、南越前町	台風第21号は暴風域を伴い非常に強い勢力を維持して4日12時頃に徳島県南部に上陸した。 その後も暴風域を伴ったまま北北東に進み、14時頃に兵庫県神戸市付近に再上陸した。 15時には若狭湾に達し、日本海を北上した後、5日9時に間宮海峡で温帯低気圧に変わった。 <日最大風速> 福井 21.8m/s (4日15時59分 南南東) 敦賀 26.3m/s (4日15時29分 南南東) <最大瞬間風速> 福井 37.9m/s (4日16時22分 南) 敦賀 47.9m/s (4日15時00分 東南東)
2018 (平30) 9.30～ 10.1	台風 24号	(1)住家被害 一部破損 3棟 (2)その他 砂防 1箇所 (3)その他 鉄道不通 1箇所 (4)電話被害 6回線 (5)公共土木施設被害 7,430千円 (6)災害対策本部設置市町 敦賀市、小浜市、鯖江市、 永平寺町、南越前町、高浜町	台風第24号は、四国の南海上を北東に進み、非常に強い勢力を維持して30日20時頃に和歌山県田辺市付近に上陸した。 その後も暴風域を伴ったまま更に速度を速めて東海、関東甲信、東北地方を北東に進み、10月1日12時に日本の東海上で温帯低気圧に変わった。 <日最大風速> 福井 12.0m/s (1日00時27分 北北西) 敦賀 21.8m/s (30日23時49分 北北西) <最大瞬間風速> 福井 23.7m/s (1日00時08分 北) 敦賀 30.8m/s (30日23時42分 北北西)
2017 (平29) 12.25～ 2019 (平31) 1.4	地滑り	(1)公共土木施設被害 1,157,665千円	福井市蔵作町の主要地方道武生美山線において、12月25日に一次崩壊が発生し、12月29日から1月3日にかけて斜面が高さ85m、巾60m、深さ10mにわたる地すべりによって、約1万㎡の土砂が道路を寸断した。 12月25日～29日まで片側交互通行を行っていたが、12月29日から平30年1月4日までは全面通行止め。迂回路の設置完了に伴い、1月4日から今日まで片側交互通行となっている。

年月日	種類	被害状況	気象状況
2019 (令元) 8.16	台風 10号	(1)農林水産業施設被害 9,488千円	台風第10号は、日本の南海上を北西に進み、次第に進路を北に変え、15日11時過ぎに愛媛県佐田岬半島付近を通過した後、15日15時頃に広島県呉市付近に上陸し、中国地方を縦断後に日本海を北上した。 <日最大1時間降水量> 九頭竜 29.5mm 16日02時48分 <日降水量> 九頭竜 92.0mm 16日 <期間水量(15日～16日)> 九頭竜 138.0mm <日最大風速(15日～16日)> 福井 14.8m/s(15日21時33分 南南東) 敦賀 19.2m/s(15日19時07分 南南東) <日最大瞬間風速(15日～16日)> 福井 23.9m/s(15日19時17分 南東) 敦賀 33.5m/s(15日19時03分 南南東)
2019 (令元) 10.12～ 10.13	台風 19号	(1)人的被害 重傷 1人 (2)公共土木施設被害 37千円 (3)その他の公共施設被害 1,099千円 (4)その他被害 25,726千円	台風第19号は、マリアナ諸島を西に進み、一時大型で猛烈な台風が発達した後、次第に進路を北に変え、日本の南を北上し、12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した。その後、関東地方を通過し、13日12時に日本の東で温帯低気圧に変わった。 <日最大1時間降水量> 小浜 13.5mm 12日13時25分 今庄 12.0mm 12日15時03分 <日降水量> 小浜 113.0mm 12日 今庄 100.0mm 12日 <期間水量(12日～13日)> 小浜 127.0mm 今庄 111.0mm <日最大風速> 福井 12.5m/s(12日20時41分 北北西) 春江 18.7m/s(12日21時01分 北) 敦賀 20.0m/s(12日20時06分 北西) <日最大瞬間風速> 福井 22.3m/s(12日23時48分 北北西) 春江 27.8m/s(12日20時36分 北北西) 敦賀 29.9m/s(12日19時22分 北北西)

## 第2章 令和元年の天候概況

### 1 天候の特徴

#### ◇ 年（1月～12月）の概況

1月～2月は、高温、少雨・かなりの少雪。1月は冬型の気圧配置が現れやすく、雪や雨の日が多かったが、強い寒気が南下したのは一時的となったことから、降雪量はかなり少なかった。2月は寒気や発達した低気圧の影響は小さく、冬型の気圧配置は長続きしなかった。上旬から中旬にかけては、雨や雪の日が多かったが、下旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。2月の降水量はかなり少なく、降雪量もかなり少なかった。

3月～5月は、高温・多照。3月、4月の天気は概ね数日の周期で変わったが、5月は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。福井と敦賀の5月の日照時間は統計開始以来、最も多く記録的な多照となった。また、晴れて強い日射の影響を受けたことや暖かい空気が流れ込みやすかったため春の平均気温は高かった。

6月～8月は、高温。6月は多雨。8月は高温・多雨。6月上旬は高気圧に覆われて晴れた日が多く、7月末から8月中旬にかけては太平洋高気圧の張り出しが強まり晴れて厳しい暑さが続いた。8月14日は台風第10号によるフェーン現象により記録的な高温となった所もあった。

北陸地方の梅雨入りは6月7日ごろで平年より早く（平年は6月12日ごろ）、梅雨明けは7月24日ごろで平年並となった（平年は7月24日ごろ）。

9月～11月は、かなりの高温・少雨・多照。9月は高気圧に覆われて晴れた日が多く、複数の台風が日本に接近または上陸・通過し、暖かい空気が流れこんだ影響もあり、かなりの高温、かなりの少雨、かなりの多照となった。10月は台風や低気圧および前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れこみやすく、かなりの高温、かなりの多雨、寡照となった。11月は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨または雪の降った日もあったが、低気圧が日本の北を通過しやすく、高気圧に覆われて晴れた日が多く、かなりの少雨、かなりの多照となった。

12月は、冬型の気圧配置や気圧の谷、寒気の影響で、曇りや雨または雪の日が多く、寒気の影響が弱く冬型の気圧配置も一時的だったため、かなりの高温、かなりの少雪となった。

官署	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 (℃)	平年差 (℃)	階級区分	本年 (mm)	平年比 (%)	階級区分	本年 (h)	平年比 (%)	階級区分
福井	15.6	+1.1	かなり 高い	1851.5	83	かなり 少ない	1777.1	110	かなり 多い
敦賀	16.3	+1.0	かなり 高い	1793.5	84	少ない	1732.2	111	かなり 多い

※平年差（比）は、平年値（1981年～2010年の30年平均値）から求めている。

#### ◇ 台風

台風の年間発生数は平年より多い29個（平年値25.6個）となり、日本への接近数は15個（平年値11.4個）、上陸数は平年を上回る5個（平年値2.7個）。北陸地方への接近数は6個（平年値2.5

個) となった。

【台風発生数・上陸数】

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	平年値
発生	1	1				1	4	5	6	4	6	1	29	25.6
上陸 (注1)							1	2	1	1			5	2.7
北陸地方に 接近した台風						1	1	1	2	1			6	2.5

(注1) 「上陸」は台風の中心が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合を指す。

※台風の中心が新潟県、富山県、石川県、福井県のいずれかの気象官署から300km以内に入った場合を「北陸地方に接近した台風」としている。

・接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

## 2 月別気象概況

◇ 2019年（令和元年）月別気象概況

### 1月

低気圧や冬型の気圧配置および寒気の影響で、雨や雪または曇りとなった日が多くなった。

月平均気温は、大野で平年並、その他の地点では平年より高くなった。

月降水量は、今庄で平年よりかなり少なく、勝山、美浜、小浜、大飯では平年並、その他の地点では平年より少なくなった。

月日照時間は、小浜で平年よりかなり少なく、三国、美浜は平年より少なく、敦賀は平年並、その他の地点では平年より多くなった。

### 2月

低気圧や冬型の気圧配置及び寒気の影響で、雨や雪または曇りとなった日が多くなったが、下旬は高気圧に覆われて晴れや薄雲りの日が多くなった。

月平均気温は、勝山、越廼、敦賀で平年よりかなり高く、その他の地点では平年より高くなった。

月降水量は、勝山、九頭竜、小浜、大飯で平年より少なく、その他の地点では平年よりかなり少なくなった。

月日照時間は、越廼で平年より多く、その他の地点では平年並みとなった。

### 3月

前半は高気圧に覆われて晴れや薄雲りの日もあったが、低気圧や冬型の気圧配置および寒気の影響で、雨や曇りとなった日が多くなった。

月平均気温は、全ての地点で平年よりかなり高くなった。

月降水量は、三国、越廼、美山、勝山、今庄で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

月日照時間は、今庄で平年より多く、その他の地点では平年並となった。

#### 4月

高気圧に覆われて晴れや薄雲りの日もあったが、低気圧や西高東低の気圧配置および寒気の影響で、雨や曇りの日が多くなった。

月平均気温は、全ての地点で平年より低くなった。

月降水量は、三国で平年より少なく、敦賀では平年より多く、その他の地点では平年並となった。

月日照時間は、越廼で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

#### 5月

高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、低気圧や前線の影響で、雨や曇りの日もあった。

月平均気温は、大野、今庄、美浜、小浜で平年より高く、その他の地点では平年よりかなり高くなった。

月降水量は、敦賀、小浜で平年並、その他の地点では平年より少なくなった。

月日照時間は、全ての地点で平年よりかなり多くなった。

#### 6月

高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線の影響で、雨や曇りの日が多くなった。

月平均気温は、三国、美浜で平年より高く、その他の地点では平年並となった。

月降水量は、福井、美山、勝山、九頭竜、今庄、敦賀で平年より多く、その他の地点では平年並となった。

月日照時間は、勝山、越廼、今庄、敦賀、美浜、小浜で平年より多く、その他の地点で平年並となった。

#### 7月

高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線の影響で雨や曇りの日が多くなった。

月平均気温は、全ての地点で平年並となった。

月降水量は、三国、大野、九頭竜、小浜で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

月日照時間は、越廼、福井、大野、今庄、敦賀、美浜、小浜で平年より少なく、その他の地点で平年並となった。

#### 8月

高気圧に覆われて晴れた日もあったが、台風や停滞前線の影響で雨や曇りの日が多くなった。

月平均気温は、勝山で平年よりかなり高く、その他の地点では平年より高くなった。

月降水量は、三国で平年よりかなり多く、大飯で平年より少なく、その他の地点では平年より多くなった。

月日照時間は、全ての地点で平年並となった。

## 9月

高気圧に覆われて晴れた日もあったが、台風や前線の影響で雨や曇りの日もあった。

月平均気温は、越廼で平年より高く、その他の地点では平年よりかなり高くなった。

月降水量は、越廼で平年より少なく、その他の地点では平年よりかなり少なくなった。

月日照時間は、三国、越廼、福井で平年より多く、その他の地点では平年よりかなり多くなった。

## 10月

台風や前線の影響で雨や曇りの日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日もあった。

月平均気温は、全ての地点で平年よりかなり高くなった。

月降水量は、三国、勝山、大野、大飯で平年より多く、その他の地点では平年よりかなり多くなった。

月日照時間は、勝山、小浜で平年よりかなり少なく、その他の地点では平年より少なくなった。

## 11月

高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、前線や冬型の気圧配置の影響で雨や曇りの日もあった。

月平均気温は、三国、美浜で平年より高く、その他の地点では平年並となった。

月降水量は、小浜で平年より少なく、その他の地点では平年よりかなり少なくなった。

月日照時間は、全ての地点で平年よりかなり多くなった。

## 12月

高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や低気圧及び冬型の気圧配置の影響で雨や曇りの日が多くなった。また、28日には初雪を観測した。

月平均気温は小浜で平年より高く、その他の地点では平年よりかなり高くなった。

月降水量は、九頭竜で平年より多く、三国で平年よりかなり少なく、美山、大野、今庄では平年並、その他の地点では平年より少なくなった。

月日照時間は、小浜で平年より少なく、今庄、美浜で平年並、その他の地点では平年より多くなった。

# 第3章 防災訓練の実施状況

## I 総合防災訓練

令和元年度福井県総合防災訓練を次のとおり実施した。

### 1 目的

- ・災害対策基本法および福井県地域防災計画に基づき、防災関係機関が協力して迅速・的確に応急対策が実施できるよう、訓練会場の特色を活かした実践的な防災訓練を行い、併せて住民の防災に対する意識の高揚を図ることを目的に実施した。
- ・令和元年度は大野市真名川憩いの島を主会場に、福井県総合防災訓練および中部7県による緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練を実施した。
- ・大規模複合災害への着実な対応として、実動部隊による現地を活用した実践的な訓練、県整備臨時ヘリポートを使用した孤立集落救出訓練や防災関係機関によるライフライン復旧訓練、外国人避難者への避難支援、また、2市において住民避難・誘導訓練を実施した。

### 2 日時、場所

- (1) 1日目：令和元年11月1日（金）8時30分～  
福井県庁、福井県消防学校、中部縦貫道建設工事現場（大野市）など
- (2) 2日目：令和元年11月2日（土）8時30分～12時00分
- 主訓練会場 真名川憩いの島（真名川河川敷、大野市中保地係）
  - サテライト会場 雁が原スキー場（勝山市170-11-1）  
奥越ふれあい公園（大野市篠座70-46） など

### 3 主催

消防庁 福井県 福井県消防長会 緊急消防援助隊中部ブロック訓練実行委員会

### 4 想定 奥越地域における大雨および地震による複合災害

- 1日目（緊急消防援助隊訓練の想定）  
奥越地域を震源とする地震（震度5強）により、緊急消防援助隊が参集し救助活動を実施
- 2日目（福井県総合防災訓練等の想定）  
奥越地域を震源とする地震（震度6強）により、自衛隊他防災機関が参集し救助活動を実施

## 5 参加機関 170機関 (約2,000人)

### (1) 国の行政機関

中部管区警察局福井県情報通信部、北陸総合通信局、敦賀海上保安部、東京管区気象台  
福井地方気象台、近畿地方整備局、近畿地方整備局福井河川国道事務所、近畿地方整備  
局九頭竜川ダム統合管理事務所

### (2) 自衛隊

自衛隊福井地方協力本部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第10飛行隊、陸  
上自衛隊第372施設中隊、海上自衛隊舞鶴地方総監部、航空自衛隊第6航空団

### (3) 警察関係

福井県警察本部、大野警察署、勝山警察署、各市防犯隊

### (4) 応援県

石川県、富山県、岐阜県、奈良県

**緊急消防援助隊中部6県ブロック防災訓練関係**

石川県、富山県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

### (5) 消防関係

福井県消防長会、大野市消防本部、勝山市消防本部、福井市消防局、嶺北消防組合消防  
本部、鯖江・丹生消防組合消防本部、永平寺町消防本部、南越消防組合消防本部、敦賀  
美方消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部、大野市消防団、勝山市消防団、自主防  
災組織、(公財)福井県消防協会

名古屋市消防局、静岡市消防局、浜松市消防局、金沢市消防局、富山市消防局、四日市  
市消防局、岐阜市消防局、大津市消防局、ほか緊急消防援助隊参加各消防本部

### (6) 医療関係

(一社)福井県医師会、(一社)勝山市医師会、(一社)大野市医師会、(一社)福井県歯科医  
師会、(公社)福井県看護協会、日本赤十字社福井県支部、福井県赤十字血液センター、  
福井県赤十字救護奉仕団、大野市赤十字奉仕団、勝山市赤十字奉仕団福井県無線赤十字  
奉仕団、赤十字飛行隊福井支隊、福井県立病院、福井赤十字病院、福井県済生会病院、  
福井大学医学部附属病院、福井勝山総合病院、公立丹南病院、市立敦賀病院、杉田玄白  
記念公立小浜病院、福井総合病院

### (7) 交通運輸関係

福井県倉庫協会、(一社)福井県トラック協会、日本通運(株)福井支店、(一社)日本自動  
車連盟、えちぜん鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)金沢支社福井地域鉄道部、中日本高速

道路(株)金沢支社、西日本高速道路(株)関西支社

## (8) ライフライン関係

西日本電信電話(株)福井支店、(株)NTTフィールドテクノ北陸支店、(公財)日本公衆電話会、(株)NTTドコモ北陸支社、ドコモCS北陸(株)、KDDI(株)北陸総支社、ソフトバンク(株)、北陸電力(株)福井支店、(一財)北陸電気保安協会福井支店、(一社)福井県電業協会、福井県管工事業協同組合、(一社)大野市建設業協会、(一社)福井県LPGガス協会、福井県高圧ガス地域防災協議会、(一社)日本コミュニティーガス協会近畿支部福井県防災会、福井県石油商業組合、関西電力(株)原子力事業本部、日本原子力発電(株)、(独)日本原子力研究開発機構

## (9) 各種団体

NHK福井放送局、北陸地方非常通信協議会、福井県行政書士会、福井県災害ボランティアセンター連絡会、大野市社会福祉協議会、大野和光園、福井県ドローン協会、日本郵便(株)、勝山市災害ボランティアセンター連絡協議会、(公財)福井県国際交流協会、協同組合中部研修機構、福井県石油業協同組合、(株)福井銀行、福井街角放送(株)、たんなん夢レディオ、(株)日立国際電気、大塚製薬(株)、福井県民生活協同組合

## (10) 地元地区関係

大野市、勝山市

## 6 主な訓練項目

### (1) 近年多発する大規模災害に対応した訓練

- ① ブラインドによる県災害対策本部運営訓練 (図上訓練)
  - ・ 災害情報共有システム(D-NE T)を用いた情報共有
  - ・ 陸海空自衛隊が参加する合同調整会議を実施

### ② 実動機関による実践的な訓練

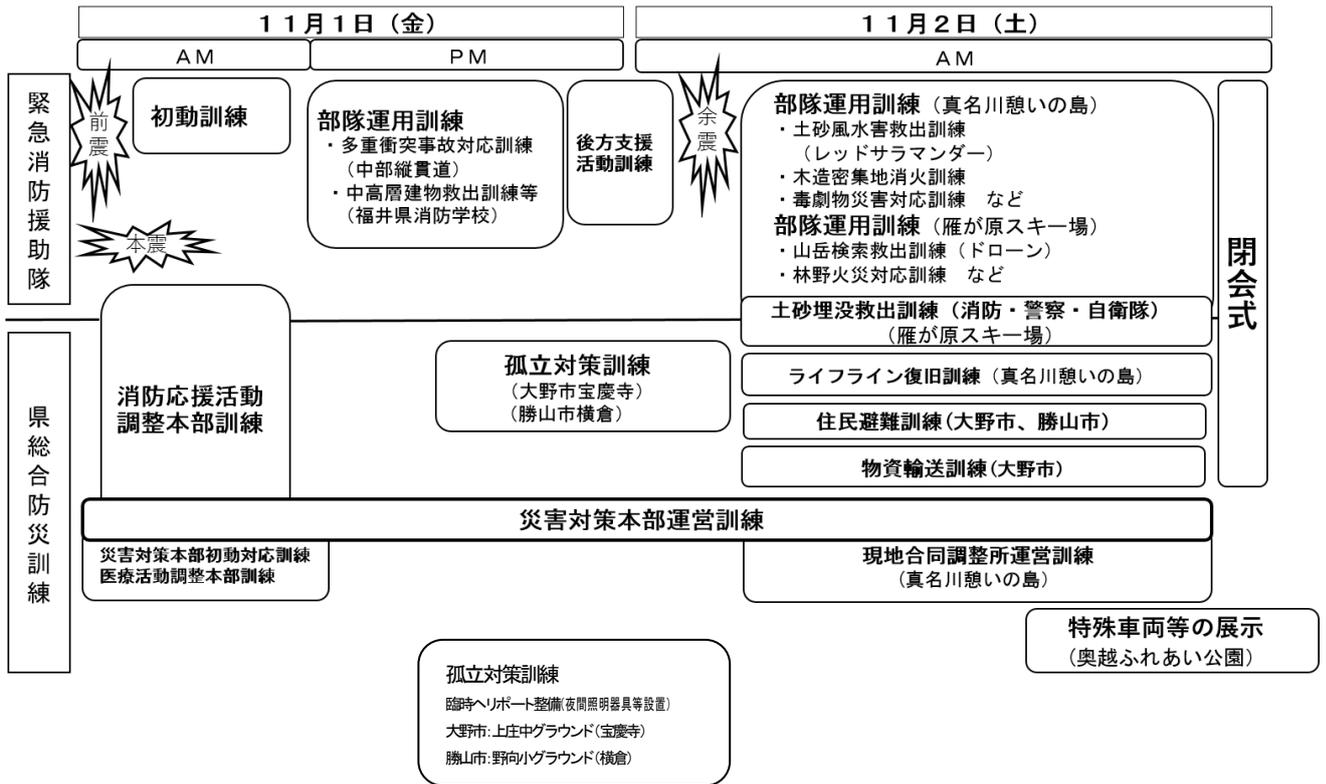
- 実際の災害現場に近い状況での実動訓練
  - ・ 消防装備のドローンを用いた山岳救助
  - ・ 全地形対応車による土砂災害対応
  - ・ 実際の斜面を用いた土砂埋没者の救出
- 現地を活用した実動訓練
  - ・ 中部縦貫道トンネル内での多重衝突事故からの救出

- ・孤立者の救出（孤立集落→県整備臨時ヘリポートへ）

### ③防災関係機関によるライフライン復旧訓練

- ・緊急送電による電力の復旧
- ・給水管の復旧

#### <訓練項目図>



### (2) 住民避難訓練・支援訓練

- ・大野市、勝山市全域 約3,000名が住民避難訓練に参加
- ・大野市小山小学校、勝山市北郷小学校、野向小学校で避難所運営訓練を実施
- ・外国人（大野市在住の技能実習生約20名）避難支援訓練
- ・陸路・空路による物資輸送（物資集積拠点→避難所へのラストワンマイル訓練）

## II 原子力防災訓練

### 1 目 的

福井県原子力防災計画および福井県広域避難計画要綱に基づき、国、県、関係市町、防災関係機関および地域住民が一体となった原子力総合防災訓練を実施し、国、地方公共団体、原子力事業者、関係機関における初動対応の確立、防災体制の確認、住民避難体制や緊急時医療措置等の災害対策の習熟、原子力災害対策に係る要員の技能の習熟および原子力防災に関する住民理解の促進を図ることを目的とする。

### 2 実施日

令和元年8月30日（金） 8：00～16：30  
8月31日（土） 8：30～16：00

### 3 対象発電所 関西電力（株） 美浜発電所

### 4 場所

美浜町、敦賀市、小浜市、若狭町、越前市、南越前町、越前町等の訓練実施市町

### 5 訓練参加数

#### （機 関）

約100機関 約1,800人

#### （住 民）

避難訓練参加住民 約1,000人

屋内退避参加住民 約8,000人

合 計 約9,000人

### 6 参加・協力機関（順不同）

#### （1）指定行政機関

内閣府、原子力規制委員会 等

#### （2）指定地方行政機関

気象庁福井地方气象台、近畿地方整備局福井河川国道事務所、海上保安庁第八管区海上保安本部、舞鶴海上保安部、敦賀海上保安部、小浜海上保安署、陸上自衛隊中部方面総監部、陸上自衛隊第10師団司令部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第10飛行隊、陸上自衛隊第372施設中隊、海上自衛隊舞鶴地方総監部、海上自衛隊舞鶴警備隊、航空自衛隊第6航空団、自衛隊福井地方協力本部 等

#### （3）指定公共機関

日本原子力研究開発機構 等

(4) 自治体関係

福井県、兵庫県、石川県、関西広域連合、福井県美浜町、敦賀市、小浜市、若狭町、越前市、南越前町、越前町、福井市、あわら市、坂井市、永平寺町、おおい町、兵庫県豊岡市、加西市 等

(5) 警察関係

福井県警察本部、敦賀警察署、小浜警察署、鯖江警察署 等

(6) 消防関係

若狭消防組合消防本部、敦賀美方消防組合消防本部、福井市消防局、敦賀美方消防組合美浜消防団、敦賀美方消防組合敦賀消防団、若狭消防組合小浜消防団、若狭消防組合上中消防団、若狭消防組合三方消防団等

(7) 学校関係

福井県教育委員会、美浜町教育委員会、敦賀市教育委員会、小浜市教育委員会、若狭町教育委員会、越前市教育委員会、南越前町教育委員会、越前町教育委員会 等

(8) 医療機関関係

(一社)福井県医師会、(一社)福井県薬剤師会、(公社)福井県診療放射線技師会、福井赤十字病院、福井県立病院、福井大学医学部附属病院、福井県済生会病院、国立病院機構あわら病院、坂井市立三国病院、地域医療機能推進機構福井勝山総合病院、越前町国民健康保険織田病院、公立丹南病院、市立敦賀病院、国立病院機構敦賀医療センター、レイクヒルズ美方病院、杉田玄白記念公立小浜病院、地域医療機能推進機構若狭高浜病院、広島大学 等

(9) 福祉関係

美浜町社会福祉協議会、敦賀市社会福祉協議会、(福)福井ゆうあい会 やはず苑  
(医)積善会 猪原病院 ヒバリヒルズ、(福)わかたけ共済部 第3和上苑  
(福)海楽園 海楽園、(福)町屋福祉会 こうの 等

(10) 交通運輸関係

(公社)福井県バス協会、(一社)福井県トラック協会、(一社)福井県タクシー協会、中日本高速道路(株)金沢支社、その他バス事業者 等

(11) 漁業関係

福井県無線漁業協同組合、福井県漁業協同組合連合会、敦賀市漁業協同組合、美浜町漁業協同組合、若狭三方漁業協同組合、大島漁業協同組合、若狭高浜漁業協同組合、河野村漁業協同組合、小浜市漁業協同組合、雄島漁業協同組合、三国港漁業協同組合、三国港機船底曳網漁業協同組合、福井市漁業協同組合、越廼漁業協同組合、越前町漁業協同組合 等

(12) その他

(株)NTTドコモ北陸支社、北陸地方非常通信協議会、(株)バロー 等

(13) 原子力事業者関係

関西電力(株)、日本原子力発電(株)、日本原子力研究開発機構、関電プラント(株) 等

## 7 事故想定

美浜発電所3号機において、若狭湾を震源とした地震による外部電源喪失後、原子炉冷却材の漏えいが発生。さらに設備故障等により非常用炉心冷却装置による原子炉への全ての注水が不能となり、全面緊急事態となる。

8 住民参加 8,988人

【PAZ】77人（県外0人、県内77人）

<8月30日（金）>

区分	避難元市町		避難先		人数
要配慮者等	美浜町	在宅要支援者	おおい町	いさいき長寿村	6

<8月31日（土）>

区分	避難元市町		避難先		人数
一般住民	美浜町		おおい町	おおい町総合町民体育館	63
	敦賀市		福井市	羽生小学校	8
合 計					71

【UPZ】962人（県外181人、県内781人）

区分	避難元市町・施設名		避難先		人数
一般住民	美浜町		おおい町	おおい町総合町民体育館	210
	敦賀市		福井市	羽生小学校	70
				少年自然の家	80
				美山公民館	123
				小浜市	豊岡市
	若狭町		加西市	加西市防災センター（県外）	83
	越前市		坂井市	春江中コミュニティセンター	89
			あわら市	金津東小学校	39
	南越前町		永平寺町	上志比小学校	102
越前町		坂井市	春江中コミュニティセンター	48	
病院・社会福祉施設	美浜町	やはす苑	おおい町	揚梅苑	3
	敦賀市	ヒバリヒルズ	福井市	ケアホーム・さいせい	4
		市立敦賀病院		福井県立病院	1
	越前市	第3和上苑	福井市	モアヤングこもれびホーム	3
	南越前町	こうの	福井市	たんぼぼ苑	3
	越前町	海楽園	坂井市	白楽荘	6
合 計					962

PAZ・UPZ 総計	1,039
------------	-------

屋内退避	7,949
------	-------

参加住民	8,988
------	-------

## 9 訓練項目

### (1) 住民避難訓練

#### ア 県内外の避難先施設への避難

県内避難 858人 (PAZ: 77人、UPZ: 781人)

県外避難 181人 (PAZ: 0人、UPZ: 181人)

#### イ 自衛隊車両、民間バス、自家用車による住民等の陸路からの避難

陸上自衛隊高機動車8台、県バス協会バス35台、自家用車64台

#### ウ 自衛隊、海上保安庁等のヘリコプターおよび船舶による住民等の空路、海路からの避難

[空路]陸上自衛隊ヘリ 2機、海上保安庁ヘリ 1機、県防災ヘリ 1機

[海路]海上自衛隊船舶 2隻、海上保安庁船舶 2隻

#### エ 避難車両中継所における自衛隊車両等から民間バスへの乗継

#### オ 消防団等による自家用車避難済み住民等の確認

### (2) 避難所開設運営訓練

#### ア 避難所の設置運営および受入マニュアル等に基づく避難者受入の実施

#### イ 県境を跨ぐ避難における受入訓練の実施

2施設 (五荘地区コミュニティセンター (兵庫県豊岡市)、加西市防災センター (兵庫県加西市))

#### ウ 避難元、避難先自治体における情報伝達の確認および福井県、兵庫県との連携

#### エ 避難者の受付 (避難退域時検査受検の有無の確認も含む)

#### オ 避難先施設における避難者への健康状態の確認

#### カ 災害時応援協定に基づく県トラック協会による物資の調達、搬送

#### キ 飲料水・飲食物の供給

#### ク 車両一時保管場所等 (車からバスへの乗換え、避難先への振分け場所) の設置 コウノトリ但馬空港 (兵庫県豊岡市)

#### ケ 避難先施設等における避難住民への事故状況等説明の実施

### (3) 避難行動要支援者避難訓練

#### ア 児童園児の保護者への引渡し

#### イ 引渡しできなかった児童園児は、職員と共に避難先施設等まで避難

美浜町 1施設 (美浜町東小学校)

#### ウ 入院患者、福祉施設入所者の避難先施設への搬送

美浜町 1施設 (やはす苑)

敦賀市 2施設 (市立敦賀病院、ヒバリヒルズ)

越前市 1施設 (第3和上苑)

南越前町 1施設 (こうの)

越前町 1施設 (海楽園)

#### エ 在宅の要配慮者の避難先となる福祉避難所への搬送

美浜町: おおい町いきいき長寿村

- オ 消防、市町社協、福祉施設、原子力事業者が保有する救急車や福祉車両による搬送  
救急車 1台  
福祉車両 9台
- カ 放射線防護のための換気設備を使用した屋内退避
- キ 避難先施設における避難者への健康状態の確認
- ク 警察による避難車両のパトカー先導

#### (4) 原子力災害医療措置訓練

- ア 福井県緊急時医療本部等の設置・運営
- イ 避難経路上における安定ヨウ素剤の緊急配布  
配布場所および配布数（11箇所、962人）  
（美浜東小学校、美浜西小学校、美浜町総合体育館、美浜町農村婦人の家、  
旧美浜北小学校、敦賀総合運動公園、県若狭合同庁舎、若狭町瓜生小学校、  
県丹南土木事務所、南越前町桜橋体育館、越前町越前地域福祉センター）
- ウ スクリーニングおよび簡易除染の実施  
実施場所および対象数等（2箇所、962人）  
（サンドーム福井、うみんぴあ大飯）  
自衛隊による車両除染の実施
- エ 発電所内で発生した被ばく患者の原子力災害拠点病院（福井赤十字病院）への搬送
- オ 原子力事業者、原子力災害医療協力機関の参画
- カ 広島大学（高度被ばく医療支援センター）との連携

#### (5) 屋内退避訓練

- ア UPZ圏住民による自宅等での屋内退避行動（戸締、情報収集等）の実施
- イ 避難に備え、非常用持出品（保険証、常備薬等）の準備
- ウ 家屋倒壊により屋内退避できない住民による近隣の指定避難所への退避
- エ 屋内退避の意義等の理解促進活動の実施（ケーブルテレビにおいて啓発番組の放送）

#### (6) 複合災害対応訓練

- ア 複合災害時における防災関係機関間の情報伝達、対応要請の確認
- イ 自衛隊、海上保安庁による住民避難の支援
- ウ 通行不能道路における道路啓開（障害物排除）の実施（1箇所）
- エ 家屋倒壊により屋内退避できない住民による近隣の指定避難所への退避【再掲】

#### (7) 緊急時通信連絡訓練

- ア 発電所から事故状況の通報連絡
- イ 国から県および関西広域連合、関係市町への通報連絡、避難指示等の伝達
- ウ 県、関係市町から自衛隊、海上保安庁、警察、消防、その他関係機関への通報連絡
- エ 事故発生から応急処理、復旧までの通信伝達、収受等
- オ 携帯型映像伝送装置等を利用した画像伝送

- カ 福井県警へりくずりゅうの映像伝送システムを利用した画像伝送
- キ 北陸地方非常通信協議会等による情報伝達

(8) 災害対策本部等運営訓練

- ア 福井県庁、各市町庁舎、福井県美浜原子力防災センターに災害対策本部等の設置・運営、情報収集・連絡体制を構築
- イ 災害対策本部等による住民に対する情報提供の実施  
(ホームページ(試行)、ケーブルテレビ、防災行政無線屋外拡声器、個別受信機、緊急情報メール、広報車、船舶等による地域住民・立入者等への広報)
- ウ テレビ会議システム等を活用し災害対策本部と現地災害対策本部との対策会議等の実施

(9) 原子力防災センター運営訓練

- ア 福井県美浜原子力防災センターへの要員派遣
- イ 現地事故対策連絡会議、原子力災害合同対策協議会の開催(実施方針の決定等)
- ウ 各機能班の活動
- エ 県および市町現地災害対策本部等と各機能班との連携
- オ 住民等の避難状況の確認
- カ 実施方針に基づいた応急対策(避難先等の決定、避難手段の確保など)

(10) 緊急時モニタリング訓練

- ア 緊急時モニタリングセンター等の設置・運営
- イ 緊急時モニタリング実施計画、緊急時モニタリング指示書の作成
- ウ 固定観測局および電子線量計観測局を活用したUPZ圏内の線量率の測定
- エ モニタリングカー、サーベイメータを活用した避難範囲の特定のための線量率の測定
- オ 「緊急時モニタリング情報共有システム(ラミセス)」を活用した関係機関との情報共有
- カ 固定観測局等のバックアップとしての可搬型モニタリングポストの設置および測定
- キ 環境試料の採取、受入
- ク 福井県モニタリング本部(美浜原子力防災センター)の設置・運営および後方支援
- ケ 原子力事業者間の相互応援による職員派遣および資機材の提供
- コ モニタリング要員被ばく管理および資機材等の汚染管理

(11) 自衛隊災害派遣運用訓練

- ア 福井県美浜原子力防災センターへの連絡要員の派遣
- イ 住民の避難支援【再掲】
- ウ スクリーニング会場における車両除染の実施【再掲】
- エ 通行不能箇所における道路啓開【再掲】

(12) 交通対策等措置訓練

ア 主要交差点等における渋滞抑制対策の実施

〔実施場所〕

美浜町 2箇所（美浜町佐田、若狭美浜 IC 口）

敦賀市 3箇所（敦賀市花城橋北詰、敦賀市運動公園北西、敦賀市岡山町）

イ 福井県警ヘリくずりゅうによる美浜発電所周辺地域の上空調査

ウ 道路管理者による道路点検の実施

エ 福井県警察本部のオフロードバイクによる避難地域の情報収集活動

オ 福井県警察警備艇わかさによる美浜発電所周辺の海上警備

カ 立入制限措置

キ 警察によるスクリーニング会場周辺道路における交通誘導

(13) 発電所事故制圧訓練

ア 緊急時活動レベル（EAL）による通報連絡訓練

イ 本店および発電所における緊急時対策本部設置・運営

ウ 規制庁ERCとの連携

エ 発電所における重大事故等発生時の対応

オ 原子力緊急事態支援組織の参画

カ 現地支援拠点等の支援体制の確立

Ⅲ 過去5年間の総合防災訓練等の実施状況

種別	年度	26	27	28	29	30	令和元
総合防災訓練	日時	平成26年11月1日(土)	平成27年8月30日(日)	平成28年10月30日(日)	平成29年8月27日(日)	平成30年11月9日(金)	令和元年11月1日(金)、2日(土)
	場所	弁天緑地、勝山市一円、大野市保健センター	小浜漁港、小浜市一円、県立大小学小浜キャンパス	北潟湖畔公園	南越前町日野川河川敷	テクノポート福井、永平寺河川公園	中部縦貫道、真名川憩いの島
	主催	福井県、勝山市	福井県、小浜市	福井県、あわら市	福井県、南越前町、越前市	福井県、福井市、あわら市、坂井市、永平寺町	消防庁 福井県 福井県消防長会 緊急消防援助隊中部ブロック訓練実行委員会
	参加機関	84	85	93	107	210	170
訓練種目	39	48	44	41	92	75	
想定	大雨と地震による災害	大雨による土砂災害および津波災害	大雨および地震・津波による災害	大雨と地震による災害	大雨と地震による災害	奥越地域における大雨および地震による複合災害	
参加人員	4,500	4,100	5,300	3,000	6,000	2,000	
石油コンビナート等	日時		平成27年8月9日(日)			平成30年11月10日(土)	
	場所		福井臨海地区石油コンビナート等特別防災区域およびその周辺海域			福井臨海地区石油コンビナート等特別防災区域およびその周辺海域	
	主催	未開催	福井県石油コンビナート等防災本部	未開催	未開催	福井県石油コンビナート等防災本部	未開催
	参加機関		30			30	
訓練種目		28			9		
想定		地震による原油漏えい、防油堤一部破損および余震によるタンク火災			地震による原油漏えい、防油堤一部破損および余震によるタンク火災		
参加人員		451			100		
原子力防災訓練(総合訓練)	日時	平成26年8月31日(日)	平成27年10月16日(金) ※平成27年度は個別訓練	平成28年8月27日(土)、28日(日)		平成30年8月25日(土)、26日(日)	令和元年8月30日(金)、31日(土)
	訓練施設	関西電力(株) 高浜発電所3号機	関西電力(株) 高浜発電所	関西電力(株) 高浜発電所、大飯発電所		関西電力(株) 大飯発電所、高浜発電所	関西電力(株) 美浜発電所
	主催	福井県、高浜町、小浜市、おおい町、若狭町	福井県	福井県		国	福井県
	参加機関	120	86機関、442名 参加	高浜: 150 大飯: 100		191	100
訓練種目	12	①最初対応訓練 ②安定ヨウ素剤緊急時配布訓練 ③スクリーニング・除染訓練 ④緊急時モニタリング訓練	13		13	13	
想定	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出		全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	
参加人員	4,100	6機関、84名 参加	5,546		7,457	8,988	

#### IV 市町別自主防災組織の結成状況

令和2年4月1日現在

	管内世帯数 (A)	自主防災組織 の組織数	隊員数	組織されている 地域の世帯数 (B)	組織率 (カバー率) (B/A)
福 井 市	104,511	1,146	75,692	102,482	98.1%
敦 賀 市	28,886	89	2,225	26,047	90.2%
小 浜 市	12,071	107	1,260	8,159	67.6%
大 野 市	11,250	205	6,013	10,850	96.4%
勝 山 市	7,039	117	1,630	6,779	96.3%
鯖 江 市	24,719	153	7,256	24,655	99.7%
あ わ ら 市	10,243	108	4,556	9,941	97.1%
越 前 市	30,829	239	9,520	30,621	99.3%
坂 井 市	32,147	320	4,411	23,400	72.8%
永 平 寺 町	6,380	89	3,621	6,380	100.0%
池 田 町	921	20	145	720	78.2%
南 越 前 町	3,419	70	1,034	3,002	87.8%
越 前 町	7,271	63	1,511	5,244	72.1%
美 浜 町	3,672	19	5,973	1,806	49.2%
高 浜 町	4,312	39	593	2,529	58.7%
お お い 町	3,245	35	1,902	2,013	62.0%
若 狭 町	4,996	92	1,275	4,739	94.9%
合計・ 平均	295,911	2,911	128,617	269,367	91.0%

管内世帯数：住民基本台帳法に基づく人口、世帯数調べ（令和2年4月1日現在）

隊 員 数：自主防災組織の組織編成において隊員または班員等に位置づけられている実働隊員の総数（令和2年4月1日現在）

## 第4章 令和元年度防災行政無線利用状況

### 1 無線局の現況

防災行政無線局等一覧（令和2年4月1日現在）

〔固定系〕

区分	局数		設置場所
	多重系	衛星系	
統制局	1	1	県庁
中継局	7		越知山（越前町大谷寺） 久須夜ヶ岳（小浜市堅海） 村国山（越前市村国） 八ツ杉（越前市別印） 勝山（勝山市滝波町） 岳山（美浜町早瀬） 青葉山（高浜町中山）
支部局	7	7	7土木（福井、三国、奥越、丹南、鯖江丹生、敦賀、小浜）
合庁局	1	1	1合同庁舎（福井）
ダム管等局	12		原子力センター 龍ヶ鼻ダム管※、龍ヶ鼻ダム下流連絡所※、永平寺堰堤※ 笹生川ダム管、笹生川堰堤※、浄土寺川堰堤※ 広野ダム管、広野堰堤※、榎谷堰堤※ 大津呂堰堤※、河内川堰堤※ ※水防無線局を含む
小計	28	9	
端末局	県出先機関	13	健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭）、 県立病院、福井港湾、敦賀港湾、 衛生環境センター、防災航空事務所※ 坂井上水、日野川上水 ※福井空港は、併設局（防災航空隊）と共用
	市町	17	9市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井 8町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
	消防本部	7	7消防本部 福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、南越、若狭 ※鯖江丹生消防・敦賀美方消防は併設局（鯖江市・敦賀市）と共用
	国・公共機関等	19	福井气象台、鯖江自衛隊、舞鶴自衛隊、敦賀海保、福井海保 日赤福井、福井県医師会、福井火力、福井石油備蓄、原電敦賀 関電美浜・高浜・大飯、ふげん、もんじゅ オフサイトセンター（敦賀、美浜、大飯、高浜）
	小計		56
衛星車載局		1	
可搬型地球局		3	
合計	28	69	

[移動系]

区 分		局 数	設 置 場 所
陸 上 基 地 局	全 県 移 動 260MHzデジタル	11	県庁統制局 中継局（越知山、久須夜ヶ岳、陣ヶ岡、村国山、岳山、青葉山、 八ツ杉、勝山） 土木事務所（敦賀） 笹生川ダム管
	F W A (18GHz)	1	坂井合同庁舎
	400MHz防災相互	1	防災航空事務所
	計	13	
航 空 局		6	防災航空事務所（可搬用含む）
陸 上 移 動 局	全 県 移 動 局 260MHzデジタル	車載型 47	県庁 3台 土木事務所 42台（福井6台、三国6台、奥越7台、丹南7台、鯖江丹生6台、 敦賀4台、小浜6台） 防災航空事務所、衛星車載局
		半固定型 39	県出先機関 8台：健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭） 県立病院、防災航空事務所
			9市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井
			8町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
			9消防本部：福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭
		5防災関係機関：福井駅、NHK福井、福井放送、福井テレビ、FM福井	
	携帯型 70	県庁 30台、敦賀土木 20台、小浜土木 20台	
	携帯型(他機関) 44	原子力センター 3台、地域医療課 41台	
	小 計 200		
	F W A (18GHz)	1	陣ヶ岡中継局
	消 防 移 動 局	車載型 1	防災航空事務所
携帯型 8		県庁 1台、防災航空事務所 7台	
小 計 9			
防 災 移 動 局	携帯型 5	防災航空事務所、400MHz 防災相互	
計	215		
携 帯 局(へり用)		消防用 2	防災ヘリコプター
航 空 機 局		航行運航用 1	
簡 易 無 線 局		2	簡易画像伝送装置（衛星車載局に搭載）
へ り サ ツ ト 局	携帯基地地球局	固定型 1	県庁局
	ヘリコプター局	へり搭載型 1	防災ヘリコプター
	計	2	
合 計		241	

## 2 利用状況

### (1) 一般通話の利用状況

令和元年中

区 分	一年間の総計	一カ月当たりの平均使用回数	一局当たりの月平均使用回数
支 部 ・ 合 庁 局	338,158	28,180	(10局) 2,818
ダ ム 管 等 局	9,931	828	(11局) 75
県 出 先 機 関	7,957	663	(15局) 52
市 町	640	53	(17局) 3.1
消 防 本 部	237	20	(9局) 2.2
国 出 先 機 関	81	6.8	(5局) 1.4
公 共 機 関	95	7.9	(9局) 0.9
原 子 力 発 電 所 等	102	8.5	(10局) 0.9
合 計	357,201	29,767	(86局) 346

### (2) 一斉指令の利用状況

[指令内容別]

令和元年中

区 分	気 象 関 係				事務連絡	テスト	合 計
	警 報	注意報	情 報	計			
指 令 回 数	84	1,535	725	2,344	261	40	2,645
前年比 (%)	34	97	64	79	90	75	80

[指令種類別]

令和元年中

区 分	全 県	県出先	市 町	消 防	その他	合 計
指 令 回 数	2,396	54	184	160	0	2,794
前年比 (%)	87	86	67	64	—	84

(3)一斉指令月別通信回数

令和元年中

区分	月												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
気警報	0	0	0	0	0	28	2	34	0	20	0	0	84
象注意報	146	110	135	128	98	112	153	167	72	139	140	135	1,535
関情報	95	68	79	22	16	78	53	127	37	58	21	71	725
係小計	241	178	214	150	114	218	208	328	109	217	161	206	2,344
事務連絡	18	10	22	36	39	32	20	16	18	13	20	17	261
テラスト	7	1	3	3	3	0	0	3	1	7	11	1	40
計	266	189	239	189	156	250	228	347	128	237	192	224	2,645
全県	236	185	219	177	151	221	206	296	106	213	172	214	2,396
県出先	4	1	3	4	3	9	5	3	7	4	6	5	54
市町	16	2	18	6	4	21	18	48	15	20	11	5	184
消防	10	3	17	6	3	20	13	45	15	16	7	5	160
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	266	191	257	193	161	271	242	392	143	253	196	229	2,794

備考:市町と消防へ一括して一斉指令した場合は、市町と消防の種類別において、それぞれ回数を計上

3 多重局通信回数集計表

令和元年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
福井支部	2,473	2,734	2,912	2,522	2,598	3,402	3,548	2,517	2,978	3,067	2,697	2,378	33,826
三国支部・坂井合庁	2,492	3,058	3,079	2,850	2,826	3,920	3,128	2,451	3,150	3,423	3,030	2,990	36,397
奥越支部・奥越合庁	2,724	2,964	3,215	3,398	2,779	3,460	3,324	2,743	2,978	3,400	2,981	2,751	36,717
勝山中継局	498	558	637	510	528	675	692	689	516	708	559	649	7,219
丹南支部・南越合庁	3,436	3,894	4,067	4,140	4,072	4,866	5,211	4,795	4,428	5,159	4,547	4,368	52,983
鯖江丹生支部	1,081	1,199	1,484	1,299	1,326	1,863	1,821	1,649	1,649	2,045	1,441	1,394	18,251
敦賀支部・敦賀合庁	2,793	2,916	3,203	2,996	3,138	4,202	4,425	3,343	3,176	4,067	3,254	3,279	40,792
小浜支部・若狭合庁	3,754	3,999	4,388	4,470	4,583	5,831	5,512	4,774	4,871	5,722	5,015	4,889	57,808
福井合庁	3,231	3,505	3,752	3,787	3,402	3,622	4,104	3,399	3,548	4,165	3,829	3,443	43,787
丹生合庁	498	737	589	703	830	1,015	1,154	929	919	1,054	1,015	935	10,378
原子力センター	413	493	478	436	502	528	441	376	345	506	434	534	5,486
笹生川ダム管	110	116	162	160	120	138	166	124	121	161	115	102	1,595
笹生川堰堤	0	0	0	11	16	28	23	25	11	8	26	3	151
浄土寺川堰堤	6	7	0	24	17	6	11	0	1	1	7	1	81
広野ダム管	81	114	129	150	108	175	134	140	133	183	142	140	1,629
広野堰堤	5	1	3	6	1	14	3	8	1	5	1	11	59
榎谷堰堤	8	1	8	0	1	16	4	6	2	1	1	11	59
龍ヶ鼻ダム管	58	61	76	72	74	103	68	65	34	64	40	79	794
永平寺堰堤	0	7	4	1	2	4	8	0	0	0	0	4	30
大津呂ダム管	0	0	0	9	1	9	0	3	0	3	0	5	30
河内川堰堤	0	0	0	0	0	7	1	0	0	0	2	7	17
計	23,661	26,364	28,186	27,544	26,924	33,884	33,778	28,036	28,861	33,742	29,136	27,973	348,089

※土木事務所(支部局)と合同庁舎が隣接している局については、合算している。

4 端末局無線通信回数調

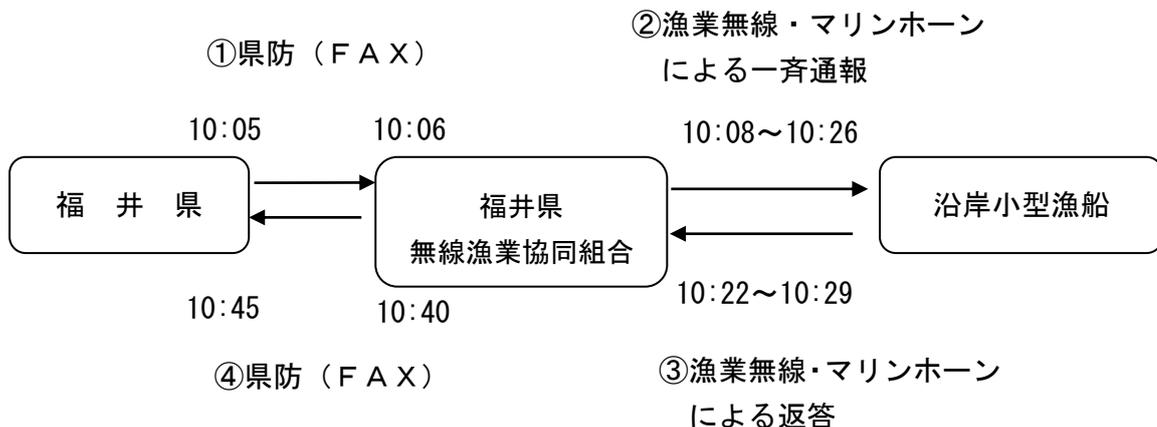
令和元年中

無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数
福 井 市	57	福 井 消 防	19	福 井 気 象 台	56
敦 賀 市	30	大 野 消 防	65	鯖 江 自 衛 隊	9
小 浜 市	36	勝 山 消 防	28	舞 鶴 自 衛 隊	6
大 野 市	51	永 平 寺 消 防	30	敦 賀 海 保	6
勝 山 市	58	嶺 北 消 防	23	福 井 海 保	4
鯖 江 市	35	鯖江丹生消防	17	国 出 先 計	81
あ わ ら 市	51	南 越 消 防	12	福 井 駅	6
越 前 市	40	敦賀美方消防	15	N H K 福 井	5
坂 井 市	35	若 狭 消 防	28	福 井 テ レ ビ	4
市 計	393	消 防 計	237	福 井 放 送	4
永 平 寺 町	46	福 井 保 健	84	F M 福 井	4
池 田 町	30	若 狭 保 健	90	日 赤 福 井	16
南 越 前 町	27	二 州 保 健	164	福 井 県 医 師 会	10
越 前 町	32	丹 南 保 健	113	福 井 火 力	7
美 浜 町	23	坂 井 保 健	68	福 井 備 蓄	39
若 狭 町	38	奥 越 保 健	105	公 共 機 関 計	95
お お い 町	20	武 生 保 健	13	原 電 敦 賀	12
高 浜 町	31	衛 生 環 境 セ ン タ ー	2,581	関 電 美 浜	28
町 計	247	県 立 病 院	212	関 電 大 飯	8
市 町 計	640	防 災 航 空 隊	46	関 電 高 浜	8
		福 井 港 湾	537	原 子 力 機 構 ふ げ ん	9
		敦 賀 港 湾	2,361	原 子 力 機 構 も ん じ ゅ	13
		福 井 空 港	49	敦 賀 オ フ サ イ ト	6
		坂 井 上 水	485	美 浜 オ フ サ イ ト	6
		日 野 川 上 水	1,049	大 飯 オ フ サ イ ト	6
		県 出 先 計	7,957	高 浜 オ フ サ イ ト	6
				原 子 力 発 電 所 等 計	102
				合 計	9,112

※衛星回線による、端末局同士の通信回数はカウントされていない

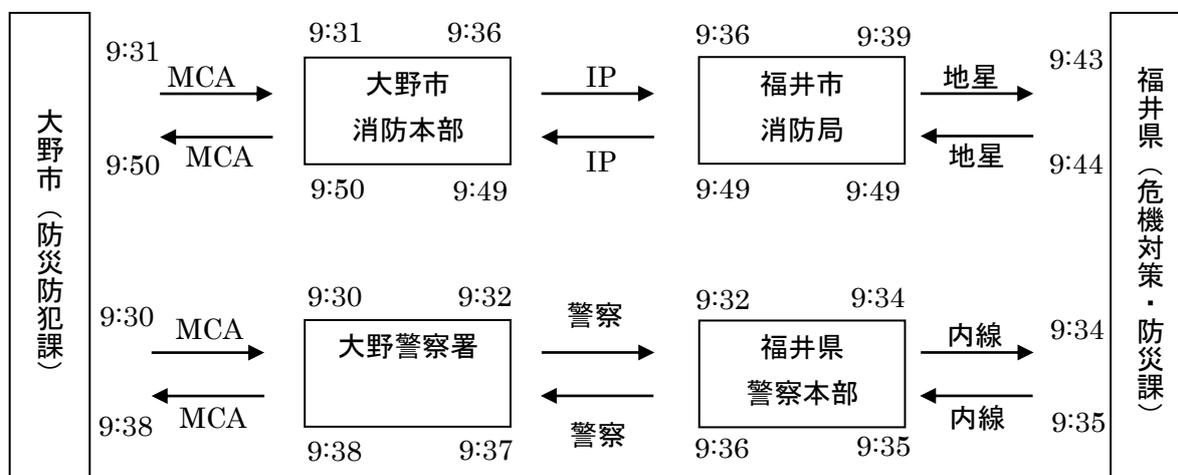
5 非常通信訓練実施状況

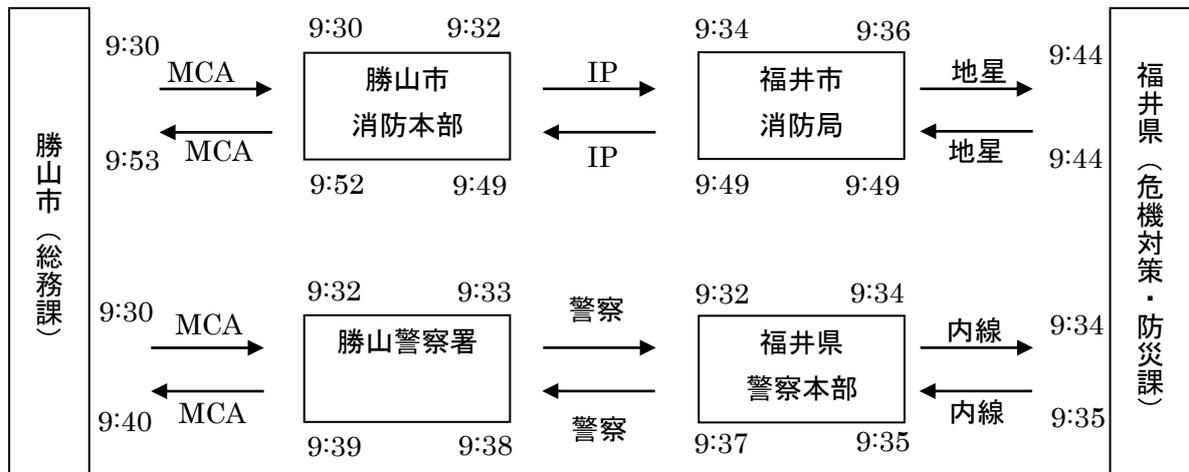
- (1) 令和元年度原子力総合防災訓練に伴う非常通信訓練（令和元年8月30日）  
 ・福井県から沿岸の船舶に向けて情報発信（漁業無線およびマリンホーンを使用）



- (2) 令和元年度福井県総合防災訓練における非常通信訓練、災害対策用移動通信機器貸出訓練（令和元年11月2日）

- ・大野市役所から福井県あて往復信（消防・警察ルートを使用）
- ・勝山市役所から福井県あて往復信（消防・警察ルートを使用）
- ・（一財）移動無線センターから携帯型MCA無線機を借り受け、大野市役所～大野市消防本部、大野市役所～大野警察署、勝山市役所～勝山市消防本部、勝山市役所～勝山警察署で非常通信訓練を実施
- ・県のIP無線機を貸し出し、大野市消防本部～福井消防局、勝山市消防本部～福井消防局で非常通信訓練を実施



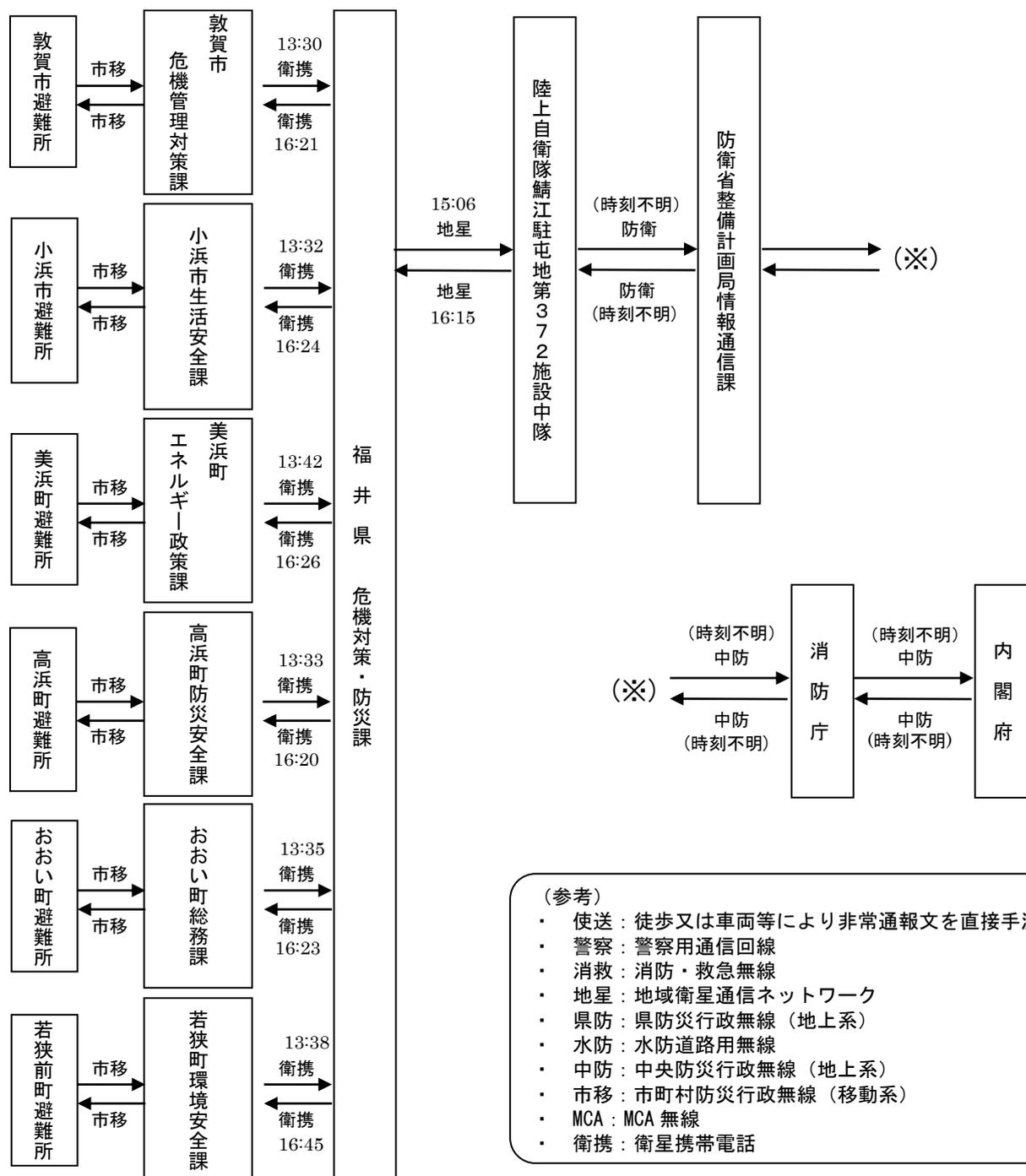


(参考)

- ・ MCA : MCA 無線機 (今回訓練用にセンターから貸出)
- ・ IP : IP 無線機 (今回訓練用に県から貸出)
- ・ 警察 : 警察用通信回線
- ・ 地星 : 地域衛星通信ネットワーク
- ・ 内線 : 県庁内線電話

(3) 令和元年度 第82回全国非常通信訓練 (令和元年12月19日)

- ・ 嶺南地方の各市町から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信。市町～県庁間は衛星携帯電話 (ワイドスターII)、県庁～内閣府間は防衛省の防衛ルートを使用。
- ・ なお、訓練当日、担当者が急用のため不在となってしまった局があり、当初想定していたよりも大幅に時間がかかった。

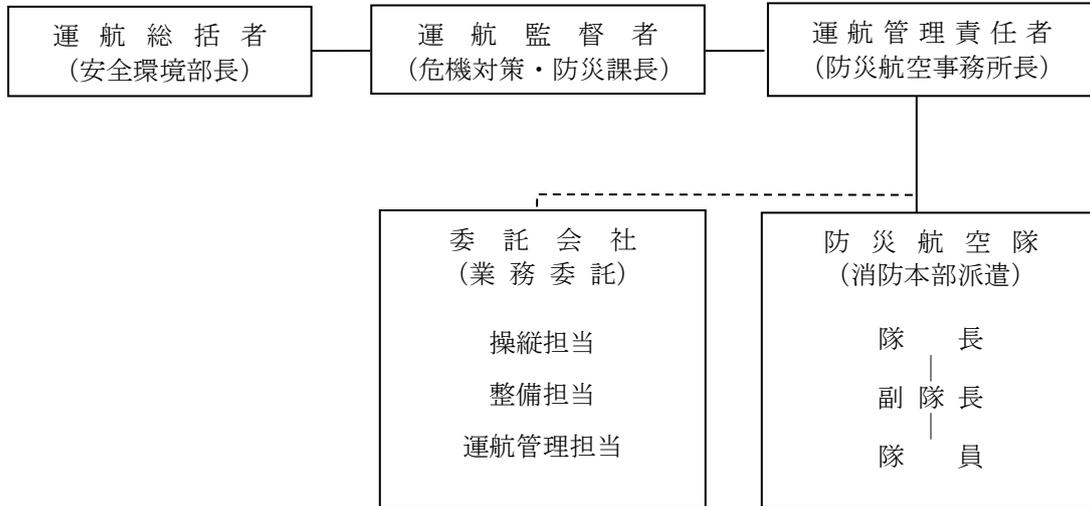


## 第5章 防災ヘリコプターの運航体制

### 1 運航基地

福井県防災航空事務所（福井空港内）

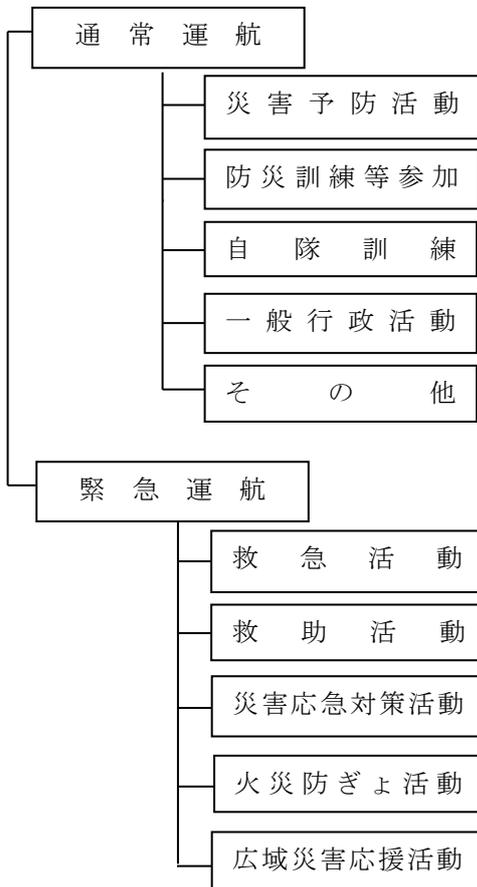
### 2 組織図



### 3 運航時間

毎日、午前8時30分から午後5時15分まで  
 （ただし、緊急運航の場合は日の出から日没まで）

### 4 活動業務



Blue Arrow 主要性能

機種	川崎BK117C-2
メーカー（製造国）	川崎重工業（日本）
エンジン最大出力	1,384SHP
エンジン基数	2基
搭乗人員	11人
最大全備重量	3,585kg
最大搭載可能重量	1,715kg
航続距離	685km
ホイスト装置	270kg
貨物吊り下げ装置	1,500kg
全長	13.03m
全高	3.95m
最大速度	278km/h
航続時間	約3.5h
着陸方式	スキッド式

第1表 福井県防災ヘリコプター運航実績表（年度別）

令和2年3月31日現在

区分	緊急運航						通常運航						合計	
	救急	救助	災害応急	火災防御	広域災害 応援	計	自隊訓練	防災訓練 参加	災害予防活動		一般行政	整備		その他
									危険箇所 調査	災害予防 広報				
平成22年度	件数 22 時間 9:31	26 19:26			15 21:26	63	128	40		4	3	4	3	245 269:40
平成23年度	件数 25 時間 10:01	26 10:46	4 4:03	1 3:19	6 11:09	62 39:18	125 151:46	39 29:10		4 16:10	4 5:08	3 5:23	4 3:31	241 250:26
平成24年度	件数 25 時間 13:51	24 18:31		1 0:52	11 13:25	61 46:39	162 183:11	39 27:30		3 11:08	1 1:40	5 7:41	5 2:03	276 279:52
平成25年度	件数 29 時間 15:24	23 19:33	9 13:12		12 13:28	73 61:37	158 184:16	33 21:18		3 11:11	1 1:40	5 5:54	4 4:05	277 290:01
平成26年度	件数 28 時間 12:35	29 20:32			12 12:35	69 45:42	139 146:21	33 26:36	1 1:43	3 11:43	4 2:16	8 8:02	8 5:26	265 247:49
平成27年度	件数 36 時間 19:30	36 26:08			6 9:38	78 55:16	162 174:09	40 25:37			2 2:24	6 4:16	3 2:37	291 264:19
平成28年度	件数 37 時間 20:50	31 30:03			10 14:41	78 65:34	142 152:04	40 29:34			2 3:17	9 10:26	2 1:21	273 262:16
平成29年度	件数 28 時間 15:55	40 29:37		1 1:04	14 14:55	83 61:31	152 159:41	27 20:22			1 1:26	7 5:06	3 1:34	273 249:40
平成30年度	件数 21 時間 15:19	18 9:26	1 0:25	1 0:24	21 12:56	62 38:30	176 188:45	32 22:58				8 5:48	4 1:44	282 257:45
令和元年度	件数 25 時間 13:50	36 24:25	2 1:23		28 24:21	91 63:59	167 183:15	25 22:10				11 6:49	4 2:23	298 278:36

※年間の飛行時間は300時間が限度であるが、耐空検査を年度中に実施しているため、年度合計は300時間を超える場合がある

## 第6章 衛星車載局の運用体制

### 1 収 容

福井県消防学校内

### 2 運用組織図

使用管理者 (危機対策・防災課長)	運用統括責任者：運用総括業務	1名
	通信機器操作員：通信機器類の操作、調整 県庁統制局の操作、調整	2名 1名
	情報収集伝達員：情報の収集、伝達	2名

### 3 運 用

＜非常時の運用＞

災害発生もしくは発生する恐れがあるときに、災害の予防、被災後の救助および復旧などの災害対策等に必要な情報の収集・伝達を行う。

＜平常時の運用＞

業務、事業、イベント等の紹介を行う。

非常時および平常時とも映像情報の伝送を可能としていることにより、より詳細な状況の把握、広報等が可能である。

### 4 主な仕様

＜アンテナ装置＞

反射鏡部	オフセットパラボラ	有効開口径 1.8 m
駆動部	電動／手動	
衛星捕捉	GPS等各種センサーおよび送受信装置受信偏波特性比較機による完全自動衛星捕捉が可能	

＜送受信装置＞

画像系電力増幅部	飽和最大出力	300W以上 (TWT)
個別通信系電力増幅部	飽和最大出力	40W以上 (SSPA)

＜端局装置＞

実装チャンネル数	個別最大通信回線用	4 CH
	デジタル画像送信用	1 CH
	デジタル画像受信用	1 CH

デジタル画像変復調部 動 画：6 Mbps

＜その他端末装置＞

全県移動車載型無線装置	260MHz デジタル通信 複信方式
衛星自動車電話	衛星携帯・自動車電話対応
簡易画像伝送装置	50GHz 帯回線構成での画像伝送

